

加西市内の観光地

1 ひまわりくまの 五百羅漢



「親の顔が見たけりや北条の西の五百羅漢の堂に御座れ」と謳われ、様々な表情の石仏がお出迎えしてくれます。

- 参拝時間 9:00～17:00
- 拝観料 200円(小人100円)
- 住所 加西市北条町北条1293
- 駐車場 無料 ● 電話 0790-43-0580

2 丸山総合公園



シンボルの地球儀時計がギネスに認定されており、春には約800本の桜が咲き誇る桜の名所です。大人気の全長約333mのローラー滑り台で遊ぶもよし、広い芝生広場やデッキから池を眺めるのんびり過ごすもよしの公園です。

- 住所 加西市北条町西高室 ● 駐車場 無料
- 電話 0790-42-8753(加西市都市計画課)

3 たまおかしききこうえん 玉丘史跡公園



播磨国風土記に登場するヒロイン「根日女」を葬ったとされる玉丘古墳を中心とした公園です。園内には、7基もの古墳があり、古代のロマンを感じることが出来ます。大型遊具「ねひめの森」は子どもに大人気です。

- 住所 加西市玉丘町76 ● 駐車場 無料
- 電話 079-431-8187(株式会社 清光社)

4 ひようごけんりつ 兵庫県立フラワーセンター



常時4,500品種の花が咲き誇り、大温室では南国の花を鑑賞でき、春には20万本以上のチューリップが楽しめます。また、夏と冬には期間限定でイルミネーションを開催します。

- 営業時間 9:00～17:00 ● 入場料要 ● 駐車場 無料
- 休業日 水曜日(祝日の場合は翌日)
- ※チューリップまつり・菊花展開催中は休業
- 住所 加西市豊倉町飯森1282-1 ● 電話 0790-47-1182

5 うずらのひこうじょうあと 鵜野飛行場跡(soraかさい)



1943年に開港した姫路海軍航空隊の飛行場跡。周囲には防空壕、爆弾庫、機銃座跡が現存し、当時の面影を色濃く残しています。鵜野飛行場跡の歴史や紫電改の実物大模型などが展示された「soraかさい」がオープン。

- 住所 加西市鵜野町 ● 駐車場 無料
- 電話 0790-49-8100(soraかさい)

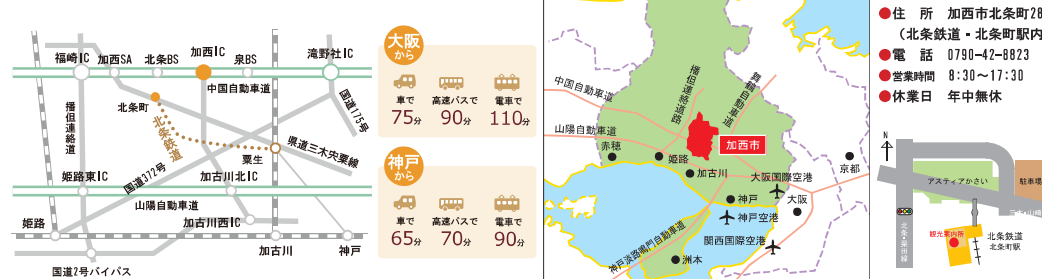
6 ほっけさんいちじょうじ 法華山一乗寺



国宝である三重塔は平安時代末期に建立され、日本を代表する古塔の一つです。春は桜、夏は緑、秋は紅葉、冬は雪景色と四季それぞれに魅力があり、特に紅葉のシーズンには多くの観光客でにぎわいます。

- 参拝時間 8:00～17:00 ● 住所 加西市坂本町
- 入山料 500円(中学生200円・小学生以下無料)
- 駐車場 300円 ● 電話 0790-48-4000/0790-48-2006

加西市へのアクセス



一般社団法人加西市観光協会

「ささい」観光ナビ <http://www.kanko-kasai.com>

加西観光ナビ 検索

- 住 所 加西市鵜野町2274-11
- 電 話 0790-49-8200

加西市と赤穂義士

～ゆかりの地を巡る～



加西市と赤穂義士の関わり

忠臣蔵で有名な赤穂浅野藩は、正保2年(1645)6月、内匠頭長矩の祖父長直が常陸国笠間より国替により赤穂藩主となったことにはじまります。

この当時の藩領は5万3500石余で、その内赤穂郡一円にあったのは約3万5200石で、残りは飛地として佐用郡に1200石、加東郡に8200石、そして加西郡に8900石余となっていました。つまり、約三分の一にあたる所領が加西郡・加東郡にありました。

この様な関係で加西市には、浅野家支配当時の農政文書が散見され、その中には四十七士の一人で加西・加東郡の郡代を務めた吉田忠左衛門の名が見えるものもあります。

また、上芥田町には歴代浅野家当主から帰依を受け祈願所となった久学寺や、小野寺十内親子の菩提寺である尾崎町の多聞寺、さらに下道山町には奥野将監が隠棲した跡と伝える場所など、浅野赤穂藩と加西市との繋がりの深さを偲ばせるところが数多く残っています。

赤穂義士ゆかりの地マップ



加西市の北部(西在田、多加野、在田地区の一部)は、赤穂藩の所領でした。

A ~ H
加西市内に点在する赤穂義士ゆかりの地です。詳しくは右のページでCheck!!
1 ~ 6
加西市内のおすすめ観光地です。詳しくは、最後のページでCheck!!

赤穂義士ゆかりの地PRキャラクター
義士の助くん
義士の助くんは加西市で平成29年11月に開催された忠臣蔵サミットの応援キャラクターです。

A 河上山 久学寺

久学寺は赤穂藩三がく寺の一つです。浅野家が播州赤穂藩へ国替となり加西市も赤穂藩の領地であったことから、久学寺を浅野家の菩提寺としました。赤穂城開城の際、大石内蔵助より住職に花岳寺の維持と永代祭祀を依頼し、その関係から四十六士の戒名を記録した過去帳や浅野家代々の当主及び四十六士の霊牌も祀られています。(加西市上芥田町982)

C 伝浅野家献納給馬(石部神社)

石部神社の拝殿正面には、浅野家より献納されたと伝わる黒馬の絵馬が掛けられています。石部神社は719年鎮座の式内社で鎮座直後に植樹されたと伝わる門杉が有名です。寄進された巨大な絵馬は、浅野家の石部神社への崇敬が格別であったことを示しています。(加西市上野町69-2)

F 潮田又之丞姉母の墓

潮田又之丞は、大石内蔵助の親戚筋にあたり、討ち入りに参加した四十七士の一人です。又之丞は討ち入り前、家族を姉の嫁先、北条の渡辺家に預けました。渡辺家は、酒見寺多宝塔(国重要文化財)を寄進するほどの名家でした。北条の菊ヶ谷墓地には母と姉の墓が残っています。(加西市北条町)

久学寺にまつわる言い伝え

赤穂藩で旧加西郡大和村(現多可町八千代区)にて、灌漑用のダム建設を行った際、城代家老の大石内蔵助が工事の進行を担当し、久学寺を再三訪れ宿泊し、住職と囲碁を楽しんでおられた様です。江戸城で刃傷事件が起り、江戸から赤穂に早駕籠が到着した際も、大石内蔵助は久学寺で着を打っており、赤穂の使者から刃傷事件を聞き慌てて赤穂に帰ったとの言い伝えが残っています。

D 大石内蔵助の立石

大工町の旧道の路傍に高さ50cmぐらいの自然石が立っています。地元では大石内蔵助の腰かけ石と呼ばれています。大石内蔵助が当地を訪れた際にたまたま宿泊した久学寺と穂積代官役所(加東市)とのほぼ中間地にあります。大石一行が巡行の際この立石で一息ついたのでしょうか。(加西市大工町)

G 祝融山 多聞寺

多聞寺は、親子で討ち入りに加わり大石内蔵助の参謀的な役割で活躍した小野寺十内と養子の幸右衛門の菩提寺です。また、子孫が檀家であるため、江戸時代から毎年12月14日に義士祭(吉祥講)が行われています。また、加西ゆかりの武将後藤又兵衛の菩提寺でもあります。(加西市尾崎町288)

B 奥野将監屋敷跡(磯崎神社)

浅野家の重臣である奥野将監は、江戸城での刃傷事件後、同志と共に主君の仇を討とうと誓い、大石内蔵助を支えました。しかし、浅野家再興に主眼を置いた将監は、結局討ち入りに参加しませんでした。その後、磯崎神社の神宮寺に嫁いだ娘を頼り、しばらくこの地に居を構えたと言われています。(加西市下道山町559-1)

E 八王子神社

長暦元年(1037年)人皇第69代後朱雀天皇により建立されたとされる神社で、その後戦火により2回焼失しました。現在の社殿は元禄6年(1693年)当時の赤穂藩の郡奉行で赤穂義士の吉田忠左衛門により再建されたと言い伝えられ、当時は社領10町歩(約10万㎡)を有する大社であったと伝えられています。(加西市田谷町1265)

H 小野寺十内親子の碑

江戸時代中期に、小野寺十内の子孫である古田伴庵氏により、亡き家族と共に父十内と兄幸右衛門の名を刻んだ碑が建立されました。また、碑の隣にある薬師堂には、十内の子孫により天保10年と明治35年に再建されたことを示す棟札が残っています。(加西市東長町)